

ささえ愛

VOL. 044

発行 令和5年11月

発行元 坂井市福祉委員幹事会
(坂井市社会福祉協議会)

「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

TOPIC 認知症を知らう！

厚生労働省の推計によると、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になり、要介護者が増える見通しとなっています。認知症と一言でいっても症状は様々。今回は認知症の種別ごとの特徴を紹介します。認知症の方を温かく見守れるように、一緒に勉強しましょう！

- ❖ 判断がむずかしくなる
- ❖ 時間、場所、人など認識ができなくなる



アルツハイマー型認知症

- ❖ 性格が変わったように感じる
- ❖ 同じ行為を繰り返してしまう
- ❖ 周囲へ配慮が出来なくなることがある



前頭側頭型認知症

- ❖ 幻視が現れる
- ❖ 手足の震えや姿勢が前傾になり動作や歩行がぎこちなくなる



レビー小体型認知症

- ❖ 気分の落ち込みや意欲低下がみられる
- ❖ 人格や判断力は保たれることが多い



脳血管性認知症

関わり方次第で 行動・心理症状(BPSD)※の多くを和らげることができます。

どんな関わり方が
いいの？
予防の仕方は？



坂井市 認知症ガイドブック

※行動・心理症状(BPSD)とは…

周辺症状とも呼ばれています。行動・心理症状は、中核症状のために本人が混乱したり落ち込んだりした結果として起こります。不安、戸惑い、自分を責める、悲哀、絶望など、認知機能低下以外のすべての症状を含みます。不適切な摂食・排泄、睡眠覚醒リズム障害、入浴の拒否などもあります。

ある日の様子

春江町 北部地区福祉委員 黒川 和代

私の所属する「春江北部ふくしの会」では、新型コロナ 5 類移行に伴い、地区で開催しているサロンの活性化、地区での絆づくりの推進を図ることを目的とした『元気づくり 出前サロン』と称した支援を「大石まちづくり協議会(健康福祉部会)」と連携し、行いました。まず全地区でのサロン開催を目標として活動をはじめ、10 月までに、無事、全地区(17 行政区)サロン開催の目標を達成することができました。4 年ぶりにサロンを開催した地区の福祉委員さんからは「高齢者の方の元気な姿をみることができ、安心した。また、参加者からは笑い声、喜びの声、次回のサロン開催についての声が聞かれ、サロンを開催できて本当に良かった。」との声をいただきました。今後も大石まちづくり協議会との連携で、一段とサロンの充実を図り、喜ばれるサロン開催と見守り活動につなげていきたいと考えています。

きいてきたぞー

坂井町 坂井木部地区福祉委員 廣部 義治

9 月、地区福祉委員会に出席し、委員になる前となった後の変化を話し合いました。以前は、地域のことを全く知りませんでした。今では、訪問活動などで地区の高齢者のみなさんと顔見知りになりました。福祉委員の役割は、地域のさりげない見守りですが、福祉委員退任後もさりげない見守りを続けていきたいと思います。委員会に参加して、振り返ることが重要であることに気がつきました。今後は、居場所づくり・サロンの充実に尽力したいです。認知症予防や心身の健康増進に取り組みたいと思います。

ここで一言

三国町 ふれあい東部地区福祉委員 藤井 文代

福祉委員として活動して 2 年目になります。初めは難しい役が来てしまったと悩みながら活動していました。転機となったのは、サロンにて参加者の方から「楽しい会を企画してくれてありがとう」と声をかけてもらったこと。その一言で福祉委員になってよかったと心が暖かくなりました。元々、人見知り気味でしたが、福祉委員の活動を通して地域の一員としての実感が芽生えてきたようにも感じています。活動の大変さを知っているからこそ、退任後には地域のお手伝いができたらと思います。

| 各支部連絡先 |

- 本部 TEL : 68-5070
- みくに支部 TEL : 82-1170
- まるおか支部 TEL : 68-5060
- はるえ支部 TEL : 51-4545
- さかい支部 TEL : 67-0699

当情報紙は坂井市社協ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.sakaicityshakyo.jp/>



編集後記

福祉委員になり、どんなことが出来るのか不安でしたが、まずは地区の方々との挨拶や声掛けを心掛けています。毎日、地区内の一人でも多くの方々に声掛け出来ることを目標に取り組んでいます。また、地域の活動では、サロン(いっぷく茶屋)の活動を知り、そこで活躍するスタッフの姿を今後の自分自身の目標としていきたいと思っています。これから人生 100 年時代と言われていますが、元気寿命・健康寿命を延ばすためにも、地域の福祉活動の取り組みを進めていくことが大切と考えています。

丸岡町高棕西部地区福祉委員 伊藤 小夜子